

～コロナ禍の不安 第1位「認知機能の低下」の対策に～

日本初！認知機能に欠かせない記憶力・注意力・集中力・判断力へ相乗的にアプローチ

機能性表示食品「ノンアルツ Bee」 2021年6月16日（水）リニューアル発売

株式会社山田養蜂場（所在地：岡山県苫田郡鏡野町、代表：山田英生、以下「山田養蜂場」）は、認知機能が低下する複数の要因に対してアプローチし、年齢とともに低下する認知機能のうち「記憶力」、「注意力」、「集中力」、「判断力」を維持する機能性表示食品「ノンアルツ Bee（ビー）」を2021年6月16日（水）にリニューアル発売いたします。

高齢化社会の進行に伴い、2025年に認知症とその予備群とされる人口は1130万人[※]を超えと言われています。これは65歳以上の高齢者の約3人に1人に相当し、年齢とともに低下する“認知機能”への対策が求められています。

※内閣府「平成29年度版高齢社会白書」、厚生労働省 H26「認知症施策の現状について」より

昨年、コロナ禍で当社が実施したアンケートでシニア層の健康不安の1位が「認知症」になるなど、新型コロナ感染拡大による精神的不安や、自粛生活による外出や知人との会話の減少が認知機能の低下を促進させることが懸念されています[※]。

※山田養蜂場「シニアの健康意識に関する意識調査2020年」より

山田養蜂場は、アルツハイマー型認知症などの神経変性疾患の世界的権威であり多くの認知症患者を回復させたリコード法(注1)の開発者であるデール・ブレデセン博士(注2)と、2019年に認知症対策事業の基本合意書に調印し、課題解決に取り組んでいます。同年、デール・ブレデセン博士監修のもと処方開発を行い、認知機能低下の原因となる炎症・酸化ストレス・脳血流低下・神経細胞の障害などの複数の要因に対してアプローチする「ノンアルツ Bee」を発売しました。



この度「ノンアルツ Bee」を用いた臨床試験結果を根拠として機能性表示食品の届出が受理されたため、年齢とともに低下する認知機能のうち「記憶力」、「注意力」、「集中力」、「判断力」を維持する機能性表示食品としてリニューアル発売いたします。

【商品特長】

POINT 1 ～日本初[※]！みつばち由来のプロポリスエキスが機能性関与成分として受理！～

プロポリスエキスには認知機能をサポートする抗酸化作用、抗炎症作用、脳神経保護・形成促進作用があることが報告されています。また、イチョウ葉抽出物やクルクミンの働きを底上げし相乗効果を発揮することが研究結果により確認されました。

※消費者庁「機能性表示食品データベース」(2021年5月時点)

POINT 2 ～年齢とともに低下する認知機能のうち記憶力、注意力、集中力、判断力を維持～

記憶力(日常生活において会話や読み書きなどの基礎となる言葉や文字、行動を記憶し、思い出す力)や注意力・集中力(必要とする情報に意識を向け、正確に対処する力)、判断力(情報を処理し正確に判断する力)を維持する機能が確認されました。また、「集中力」に関する機能性は日本で初めて受理されています。仕事でミスできない方、1つの作業に時間をかけてしまう方、読書に集中できない方などにおすすめです。

今後も、予防医学の観点から「アピセラピー（＝ミツバチによる伝統的健康法）」を追究し、ミツバチ製品やその他の健康に役立つ素材の開発を通して、お客様一人ひとりの健康寿命を延伸し、社会に貢献してまいります。

【メディアお問い合わせ先】 山田養蜂場ヘルスケア PR 事務局（インシャル内） 担当：恒光、村井、倉田、清水、三木

Tel:03-6821-5730 FAX:03-5572-6065 E-mail: yamada_youhou@vectorinc.co.jp

株式会社 山田養蜂場 戦略広報室 (pr-syagai@yamada-bee.com)

【商品概要】

商品名	ノンアルツ Bee (ビー)	
発売日	2021年6月16日(水)	
内容量	90球 ビン入	90球 袋入
価格	8,640円(税込) 8,000円(税抜)	8,532円(税込) 7,900円(税抜)
販売チャネル	通信販売 (https://www.3838.com) / 山田養蜂場直営店	
原材料名	ツボクサ抽出物、ホスファチジルセリン(大豆を含む)、イチョウ葉抽出物、 コーヒー果実抽出物、プロポリスエキス、マルトデキストリン/ウコン、HPMC、 ビタミンCパルミテート、微粒二酸化ケイ素、アルギニン	
栄養成分表示	1日摂取目安量 3球/1320mg エネルギー6kcal、タンパク質0.09g、脂質0.2g、炭水化物0.9g、 食塩相当量0.012g	
機能性関与成分	プロポリスエキス アルデピリンCとして6mg、 プロポリスエキス クリフォリンとして0.1mg、 クルクミン175mg、イチョウ葉由来フラボノイド配糖体28.8mg イチョウ葉由来テルペンラクトン7.2mg、大豆由来ホスファチジルセリン100mg	
サポート素材	コーヒーベリーエキス100mg、ツボクサエキス250mg	
お召し上がり方	1日3球を目安に、飲み物と一緒に召し上がりください。	
摂取する上での 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や体質により、稀にからだに合わない場合(かゆみ、発疹、胃腸の不快感等)があります。 ・医薬品(特にワーファリンなど)を服用中の方は、医師、薬剤師にご相談の上、お召し上がりください。 ・妊娠中の方は飲用をお控えください。 	
保存方法	直射日光や高温多湿を避け、涼しい所で保存してください。	
お客様の お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-38-38-38 (8:00~21:00) https://www.3838.com	

【届出受理日】2021年4月2日

【届出番号】F957

【届出表示】

本品にはプロポリスエキス、クルクミン、イチョウ葉由来フラボノイド配糖体、イチョウ葉由来テルペンラクトン、大豆由来ホスファチジルセリンが含まれるので、年齢とともに低下する認知機能のうち、記憶力(日常生活において会話や読み書きなどの基礎となる言葉や文字、行動を記憶し、思い出す力)や注意力・集中力(必要とする情報に意識を向け、正確に対処する力)、判断力(情報を処理し正確に判断する力)を維持する機能があります。

- 本品は、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。
- 本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

<機能性関与成分>

○プロポリスエキス（指標成分：アルテピリン C、クリフォリン）

ミツバチが巣の衛生状態を保つために作る粘着性の物質。特に、ブラジル産プロポリスはアルテピリン C などの桂皮酸誘導体を主成分としており、健康に関する研究が世界中で進められています。認知機能をサポートする抗酸化作用、抗炎症作用、脳神経保護・形成促進作用があることが報告されています。

○クルクミン

ウコンに含まれる黄色いポリフェノールの一種で、認知機能をサポートする抗酸化作用、抗炎症作用が報告されています。

○イチョウ葉由来フラボノイド配糖体、イチョウ葉由来テルペンラクトン

認知機能をサポートする抗酸化作用、血小板凝集抑制作用、血管拡張作用、脳血流改善作用が報告されています。近年、国内外でサプリメント素材として人気を集めているハーブです。

○大豆由来ホスファチジルセリン

細胞膜を構成する主な成分で、脳や神経組織をはじめ、皮膚や血管など人体に多く存在しており、食品では、主に大豆に含まれる成分です。認知機能をサポートする抗酸化作用や神経伝達促進作用が報告されています。

<サポート素材>

○コーヒーベリーエキス

赤い果肉に覆われたコーヒーの果実からまるごと抽出したポリフェノールを豊富に含む注目の成分です。

○ツボクサエキス

日本や中国、東南アジアに広く自生するセリ科の植物で、WHO（世界保健機構）が注目する植物に選ばれています。

注 1)リコード法

これまでに 500 名以上のアルツハイマー型認知症患者に実践され、効果が認められている画期的な治療法。アルツハイマー型認知症の原因は単一的ではなく、複数の要因によるものであると解明し、個人の症状にあわせて対策を取ることができる“オーダーメイド型の認知症治療プログラム”として、世界中で注目を浴びている。従来の「アミロイドβを除去する」という考え方ではなく、「アミロイドβが産生される複数の原因を対策する」というアプローチのもと、その原因に応じた専用のプログラムを実践することができる。

注 2)デール・ブレデセン博士

アルツハイマー病などの神経変性疾患を専門とする医学博士／カリフォルニア大学分子生理学科教授。著書『アルツハイマー病 真実と終焉』を 2018 年に出版し、米 amazon ランキング 1 位、New York Times 誌、Wall Street Journal 誌でベストセラーを記録。世界 35 カ国で翻訳出版されるなど、いま最も注目を浴びている認知症研究の権威。

ノンアルツ Bee は「記憶力」、「注意力」、「集中力」、「判断力」を維持する機能が受理されました。

<ノンアルツ Bee の機能性研究>

対象者：もの忘れを自覚する健常な日本人男女（40～79歳）82人

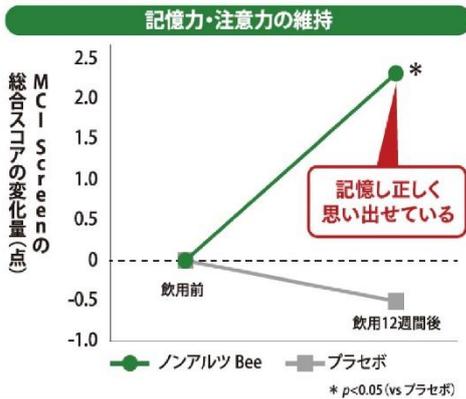
試験方法：「ノンアルツ Bee」またはプラセボ^{※1}を1日3球、12週間摂取してもらい

認知機能を評価するためのテスト（MCI Sreen^{※2}、ストルーペテスト^{※3}）を行った。

動画での説明はこちら

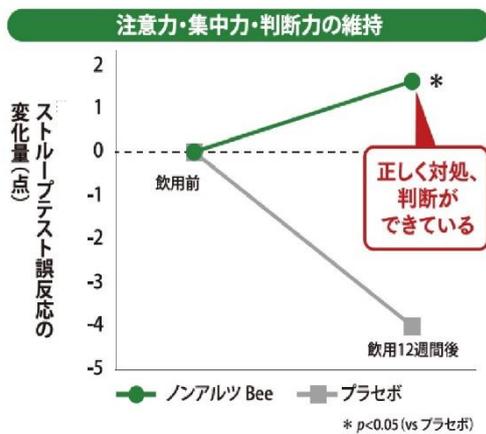


■ MCI Sreen の結果、ノンアルツ Bee は記憶力・注意力を維持することが示されました。



「ノンアルツ Bee」を12週間摂取した群はプラセボを摂取した群に比べて、MCI Sreen^{※2}の総合スコアが有意に改善した。

■ ストルーペテストの結果、ノンアルツ Bee は注意力・集中力・判断力を維持することが示されました。



「ノンアルツ Bee」を12週間摂取した群はプラセボを摂取した群に比べて、ストルーペテスト^{※3}のST誤反応スコアにおいて有意な差が見られた。

参考：Jpn Pharmacol Ther, vol.48(18).1805-19(2020)

※1：プラセボ

思い込みによる作用をなくすために用いられる偽薬や試験食のこと

※2：MCI Sreen

従前の認知機能評価法とは異なり65歳未満の若年層（30歳～）や認知機能低下がない健常群の機能状態評価が行える国内では初めての認知機能スケール。健常～MCI群における認知機能状態の定量的経時評価が可能で、被検者の微細な認知機能状態を0～100の指数値で評価。米FDA治験での採用歴をはじめ、国内では、国の認知症予防事業で公式スケールとして採用歴があり、全国の健診・ドック施設や地方自治体、大学・研究機関で広く採用。食品の機能性表示届出申請に伴うヒト試験での採用事例多数。

※3：ストルーペテスト

パソコンに表示される文字の意味と色の対応について回答するテスト。

このテストでの回答ミスをスコア化したのがST誤反応スコアで点数が高いほどミスが少なかったことを示す、注意力や集中力、判断力が評価される。

